

津市GIGAスクール構想の実現

～児童生徒が主体となる学びの実現～

- ▶ICT機器の効果的な活用
- ▶ICTサポーターによる支援の充実
- ▶ICT環境のより一層の充実
 - タブレット端末の更新
 - 生徒用、教員用及び予備機の調達

◆課題

- ICTサポーターの人材不足
- タブレット端末の故障等への対応(費用負担)
- 津市GIGAスクール構想の実現のためのサポート体制の強化

教育環境の整備

▶長寿命化計画による学校施設整備

- 学校施設整備基金などを活用した継続的な教育環境の整備を検討

◆課題

- 体育館への空調設置の考え方(財源確保)

子どもたちと向き合う時間の確保

▶教員支援員の配置

- 各学校へ継続した適正配置

◆課題

- 再任用職員の減少に伴い任用形態の検討

▶スクール・サポート・スタッフの配置

- 全校への配置を継続

◆課題

- 配当時間の継続・拡大(国・県に対して要望)
- 配当時間の算定基準の再検討(県に対して要望)

幼児教育から小学校教育への連続した学び

▶全小学校区における津市架け橋プログラムの実施

- 小学校区架け橋期カリキュラム作成の支援
- 相互の教育内容や方法に関する理解の共有
- 架け橋サポーターや幼児教育アドバイザー等による訪問支援を継続して実施

▶子どもに関わる大人が連携・協働して、学びや生活の基盤を育む視点の醸成

- 公私立の幼保小や子育て関連部局が連携した研修会の開催や、家庭教育の充実に向けた保護者及び地域へ継続した情報発信

子どもが主体となる教育環境

▶「授業改善」にむけて

- 子どもが主体的になって学び合う授業へ変えていく
- 教員の意識改革に向けて、状況の把握と適切な支援の継続

▶特別な支援が必要な子どもたちへの支援体制の充実

- 不登校、子どもの貧困、外国につながる子ども等、多様なニーズに対応した支援を継続して実施
- 特別支援教育支援員などの人的支援の継続した実施及び人材確保のための手段の検討

◆課題

- 人材不足・人材確保の苦慮(勤務条件による地域間格差)

部活動への取組

▶部活動の在り方の工夫

- 外部指導者・部活動指導員の人材確保
- 部活動を保障するための合同部活動・合同チーム・拠点校部活動の導入

▶地域連携

- 地域の文化・スポーツ団体との連携(安濃地域・白山地域等)

◆課題

- 地域移行に向けた方法と部活動のあり方の検討
- 受け皿となる団体等や活動場所の確保
- 学校間等の移動手段の検討

地域とともにある学校づくり

▶地域とともにある学校づくりの推進

- 各学校や地域の課題解決に向けた取組の支援
- 学校運営協議会及び地域学校協働活動の充実に向けた継続した支援
- 地域コーディネーターの育成の支援
- 地域学校協働活動の先進事例の継続した発信

◆課題

- 地域学校協働本部の団体のゆるやかなネットワークづくり

より良い学校生活の充実

▶学校給食の安定的な供給

- 調理施設の共同化も見据えた整備・改修計画の検討
- 給食物価高騰に対して支援の検討

◆課題

- 地域によって異なる食材調達方法の早期見直し

▶放課後の児童の居場所の充実

- 放課後児童クラブ運営補助金の一層の支援の充実及び計画的な施設整備
- 放課後児童クラブの運営に係る保護者等の負担軽減
- 放課後児童支援員等の確保と資質向上
- 放課後子供教室の取組

▶水泳授業の継続

- 水泳指導の機会を確保し、水泳授業を継続
- 共用化プール・公用プールの利用に伴い人的支援の検討

◆課題

- 学校プール施設の老朽化による対象校の増加への対応

白山地域における小学校の在り方

- ▶地域の方との話し合いの場の実施
(コンセンサスを丁寧に得ていく)
- ▶スケジュール及び学校施設整備の検討
- ▶学校間の交流事業の検討

学校における人材確保への課題

- ▶時給・日給単価の課題(津市臨時講師、学校サポーター)
(近隣地域との格差による人材流出、人材確保の苦慮)
- ▶職種にあった人とのマッチングの課題
- ▶職員へのフォロー体制の課題 など